

12月定例市議会 一般質問から

伊那市議会12月定例会の一般質問は、対面式・一問一答方式、及び一括方式により、12月10日、11日、12日の3日間にわたって行われ、19人の議員が質問に立ちました。
質問と答弁の主な内容をお知らせします。



唐澤 稔

孤立死対策について

問 唐澤稔議員 ひとり暮らしの高齢者や若い人の餓死といった孤立死の現実について、防止するための取り組みと今後の市の対策は。

答 市長 25年1月に電気、水道、ガス、郵便、新聞など8業種49事業所と地域見守りネットワーク協定を締結して安否確認など行っている。ほかにも民生児童委員、保健師などによる訪問、緊急通報装置の設置、要援護者台帳の整備など進めている。近隣の方による普段からの見守りが何より大切と考える。

詐欺事件について

問 唐澤稔議員 市内でも詐欺事件が発生しているが対策はとられているか。

答 市長 市では消費生活センターを設置し、消費者詐欺の傾向や発生状況の迅速な把握に努めている。特に高齢者を対象にしたイベント、教室などの機会をとらえて注意喚起を行っている。今後も予防策など情報提供を行い被害防止に努めたい。



宮島 良夫

次期市長選について

問 唐澤稔議員 市内でも詐欺事件が発生しているが対策はとられているか。



宮島 良夫

公契約条例制定について

問 宮島良夫議員 市の建設業界を取り巻く状況は厳しく、若い職員が入社しても1、2年で退社してしまい、技術を引き継ぐ後継者がいない。自治体で発注する仕事に最低賃金を確保するための公契約条例の制定をするべき。

答 市長 賃金の最低額を定めることは適正な労働条件確保のためには重要。公共工事は税金で実施する事業であり、法定賃金を上回る額の規定に疑問が残る。課題もあるため運用には十分な調査検討が必要。

中学生のネット依存対策

問 宮島良夫議員 子供たちが会員制交流サイトなどに熱中して体調を崩したり、学力が低下している。生徒のインターネット依存について

黒河内浩議員 来年4月に市長選がある。出馬の有無と、これまでの4年間を振り返るの総括を聞きたい。

答 市長 新しい時代に向

けたい。市議や市民の意見を謙虚に聞き、市の発展、市民の幸せを希求していく。

市と伊那市観光株とのあり方

問 黒河内浩議員 市長と高遠町総合支所長が観光株の社長と専務を兼ねていることは適当でない。ほかから人材を起用すべき。

答 市長 市は筆頭株主で健全経営を行う上で重大な責任を負っている。人事については民間からの登用も含め、運営体制を検討する。

市と振興公社とのあり方

問 黒河内浩議員 女性プラザ、勤労青少年ホーム、サンライフ伊那の3施設の

の対策、家庭の指導について取り組みを。

答 教育委員長 悪影響に認識することが重要。発生したトラブルの責任は保護者が一切の責任を負う、家庭でルールづくりを徹底する、この大きく二点について家庭への通知や懇談会などを通じて働きかけを行うよう各学校に依頼している。



飯島 尚幸

共有地の所有権移転登記

問 飯島尚幸議員 区や集落の共有地を公共事業に供する場合、その所有権をめぐり移転登記が極めて困難な場合が多い。これは全国的な問題でもあり、県市長会などを通じて不動産登記法や関係法律の改正、整備を求めていく考えは。

答 市長 市でも問題を抱えているところがある。法の改正は簡単なことではないが、国県へ訴えていく。

廃止が決定されたが、これらの施設を利用してきた市民のために新たな活動場所の確保を図る必要がある。そのためにも関係者の意見を聞くべき。

答 市長 解体跡に予定する防災拠点施設を利用

できるようにすることや、新築する伊那公民館などの活用も含め、関係者の意見を聞き相談に応じていく。

地域振興に「ヤマブドウワイン」を

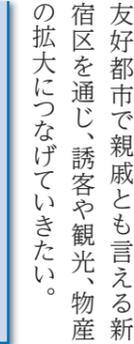
問 竹中則子議員 ①信大と共同開発を進めている「ヤマブドウワイン」の将来に向けての展望と地域振興について考えは。耕作放棄地に試験栽培などを進め、今後多くの栽培農家が増えるよう新規就農者や信大卒の皆さんが定住できるように対策を進めてほしい。

答 市長 この地域はヤマブドウに適した土壌。ポリフェノールの含有量が高いのが特徴。26年6月に試験販売を行う。伊那谷がヤマブドウワイ

東京五輪(2020年)について

問 飯島尚幸議員 東京五輪に向け、事前合宿や外国人観光客の誘致、伊那谷産食糧の提供戦略などの積極推進を求めるが。

答 市長 市と交流が進んでいる東ティモールを応援できるのであれば、マラソンの競技練習などで誘致したい。友好都市で親戚とも言える新宿区を通じ、誘客や観光、物産の拡大につなげていきたい。



飯島 尚幸

オリンピックを教材とした教育

問 飯島尚幸議員 学校の外国語活動で、駒ヶ根青年海外協力隊員の出前講座の有効活用を望むが。

答 教育長 大変好評な成果があり、さらに全校へ周知し活用を積極的に推進する。

伊那市中心市街地再開発への望みとおもてなし

問 竹中則子議員 J R伊那市駅前など中心市街地再開発を進め、初めて市に降り立った人々によいイメージを与えるよう対策を。伊那市らしさを出した駅前の整備を。

答 市長 よいイメージを持つてもらうため、駅前広場、隣接地域を合わせた整備は大変重要。飯田線活用検討ワークショップでは、伊那市駅を「パノラマステーション」、伊那北駅を「にぎわいステーション」とし、観光・商店街などの情報提供や市のPR展示の場として利用できるよう提案されている。再開発ありきでなく、地方都市の身の丈にあった駅前整備に向けて研究を進めたい。



若林 敏明

移住定住促進プログラム

問 中山彰博議員 ①ガードロープの修復、設置は。②白岩付近のジオパーク説明ポイントの安全対策の充実を。③戸台大橋・敷沢川橋・唐沢洞門の橋梁長寿命化計画への取り組みは。④南アルプス市との林道懇話会のスタートを。

答 市長 ①特に平右衛門対策について関係機関と協議を進め、橋梁設置に向けた対策に取り組む。②来年度のバス運行までに、景観に配慮した高上げガードロープの設置を考えた。③国県補助の可能性を早急に協議し、有利な補助制度がない場合は制度の創設を国県に要望していく。④研究会を立ち上げているが、今後は協議会への移行について山梨県側と検討を進め、また林道の維持管理についての連絡体制を整備したい。

防災拠点としての道の駅「南アルプスむら長谷」の整備

問 中山彰博議員 長野県は今年度から道の駅の防災機能を強化する方針を決めたが、「南アルプスむら長谷」はどのような整備がなされるのか。

問 若林敏明議員 借しませんが12月29日で廃業となるが困る人の手当は。また、その後の街中居住は。

菊の湯廃業と街中居住

答 市長 みはらしの湯へ午後2便、無料で送迎する。一般市民も歓迎。更に不都合な人は引き続き商工振興課で相談に応じる。街中居住は地域おこ